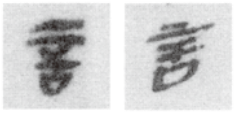
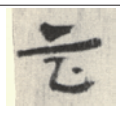
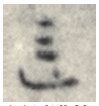
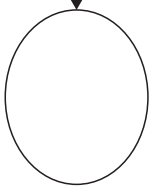
字体・書体年表

※左から「開成石経」「康熙字典」「文部省活字」「当用漢字字体表」「教科書体」「教育漢字許容字形」「学参フォント」

		正書体（正式書体）	行書体（筆記体/実用体）	草書体（筆記体の略体）
	商（殷）	甲骨文（金文）	商の時代の金文も存在する。 甲骨文というのは、金文の 略体であったのかもしれない。	
1030BC？	西周	金文（甲骨文）	周代になっても甲骨による卜辞が 行われていた。	
770BC	東周 春秋	諸国では、字体の違う篆書が使われていた？ 金文	青山木牘（秦309BC～307BC頃） 六国古文	諸国の字体は違っても、 通用していたらしい
453BC	東周 戦国	**秦篆（小篆）の完成**「秦公𣪘銘（575BC）」 大篆	最古の「さんずい」 侯馬盟書（晋496BC頃）	
249BC 221BC	秦	**始皇帝による文字統一** 秦の字体を強要 3300字種を公認 **文字のなにを統一したのか？** **どの用途の文字を統一したのか？** 小篆 泰山刻石（219BC）	 篆書と隷書 湖北省雲夢県睡虎地竹簡（220BC頃）	秦の役人の墓から出土した 湖北省雲夢県睡虎地竹簡は ほとんど隷書。 楚の字体も使われている
206BC	前漢	馬王堆帛書には始皇帝が廃したはずの 楚国の字体が残っている。 古隷	馬王堆帛書（186BC～168BC頃）	 居延漢簡（48BC）  居延漢簡（32BC～7BC頃）
8	新			
23				
204 221 222	後漢	『説文解字』（100） 礼器碑 156 乙瑛碑 153 隷書 八分	居延漢簡 武威漢簡	居延漢簡 居延漢簡 93
263	蜀 魏			
265	呉			
280	西晋	天発神讖碑（276）		
318				
386	東晋 五胡一六国	南北朝時代とも六朝時代ともいわれる時代。 六朝とは、呉、東晋、宋、斉、梁、陳の六国。	王羲之 王羲之の真跡は 残っておらず、 残存しているのは すべて唐時代以降に 作られた模本	王羲之 王献之 智永
420	宋			
479	斉			
502	梁	鄭道昭 511? 高貞碑 523		
535	梁 東魏 西魏	六朝書		
557	陳 北斉			
579	陳 北周			
581	隋			
618	唐	楷書 通字体 正字体 石経 837 『説文解字』の字体をむりやり楷書にしたものが正字 虞世南 628? 欧陽詢 632 褚遂良 653 顔真卿 顔氏家廟碑 780 顔真卿 顔勤礼碑 764-771 柳公権 魏公先廟碑 778-865	 顔真卿 顔真卿	虞世南 唐太宗 懐素 777 孫過庭 687
907				

©2006 Hajime Okuma